

平成6年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(五十音順)

[ 個人 ]

いくしま てるお  
幾島 照夫 (愛媛県西条市)  
いしお じんぞう  
石尾 甚三 (石川県河北郡内灘町)  
すず はるお  
鈴 春夫 (鹿児島県指宿市)

[ 団体 ]

いとうちゅうせいとうかぶしきがいしゃ ほんしゃこうじょう  
伊藤忠製糖株式会社 本社工場 (愛知県碧南市)  
おおいまちはな うんどうすいしんいんかい  
大井町花いっぱい運動推進委員会 (埼玉県入間郡大井町)  
おおまる やそう かい  
大丸野草の会 (東京都稲城市)  
おわせ  
尾鷲グリーンクラブ (三重県尾鷲市)  
きょうごくちょうかぼくあいこうかい  
京極町花木愛好会 (北海道虹田郡京極町)  
だいいちせいやくかぶしきがいしゃ あきたこうじょう  
第一製薬株式会社 秋田工場 (秋田県秋田市)  
つもらいろうしょうかい  
賦合老笑会 (鹿児島県日置郡郡山町)  
なべしまようせいかい  
鍋島養正会 (佐賀県佐賀市)  
なみおかまちせいぎょうふじんかい  
浪岡町成業婦人会 (青森県南津軽郡浪岡町)  
べっぶし しょうねんだん  
別府市みどりの少年団 (大分県別府市)  
むかわむらしやかいふくしきょうぎかい  
武川村社会福祉協議会「みちしば」 (山梨県北巨摩郡武川村)  
もりたけれんごうらくせいかい  
森岳連合楽生会 (長崎県島原市)

[ 学校 ]

いかわちゅうがっこう しょうねんだん  
井川中学校みどりの少年団 (静岡県静岡市)  
きらちょうりつきらちゅうがっこう  
吉良町立吉良中学校 (愛知県幡豆郡吉良町)  
たぬまちょうりつにしちゅうがっこう  
田沼町立西中学校 (栃木県安蘇郡田沼町)  
みさわしりつみさわしょうがっこう  
三沢市立三沢小学校 (青森県三沢市)  
りょうぜんちょうりついしだしょうがっこう  
霊山町立石田小学校 (福島県伊達郡霊山町)

[ 地方公共団体 ]

うちのみちょう  
内海町 (香川県小豆郡内海町)  
たいらむら  
平村 (富山県東礪波郡平村)  
たかさし  
高崎市 (群馬県高崎市)  
はがちょう  
波賀町 (兵庫県宍粟郡波賀町)

[個人]

氏名	<p>いくしま てるお 幾島 照夫</p>
住所	<p>愛媛県西条市</p>
功績の概要	<p>同氏は、西日本の最高峰石鎚山を中心とする石鎚国定公園の東部に位置する標高1,897mの瓶ヶ森の一角で昭和28年からヒュッテを経営する傍ら、その頂上付近にある当地の景観の命であり、下流域への水の保水源とも言うべき広大なイブキザサのササ原（面積約70ha）の保護に尽力している。</p> <p>特に、昭和42年から45年頃にかけてササ原全体が枯死した際には、ササ原の復元のため、高知営林局や地元登山グループ等に呼び掛けるとともに、自らも率先して、ササ原全体の約3分の1（約20ha）にわたり、ササの移植による増殖等を行い、山の育成と保護に貢献した。</p> <p>また、瓶ヶ森の入山者に対して、高山性植物の不法採取防止の啓蒙活動を行うなど、自然保護思想の高揚に尽力するとともに、周辺の国有林野内での動植物保護の呼び掛けを行うなど、林野保護にも努めている。</p>

[個人]

氏名	<p>いしお じんぞう 石尾 甚三</p>
住所	<p>石川県河北郡内灘町</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和43年に河北潟干拓事業によってできた河北潟水路（南北1,200m）の両岸をハマナスの園にすることを目標に、昭和53年から自宅近くの畑でハマナスを育苗し、年間200日余り放水路の斜面に出掛け、植栽し、草刈り、施肥を続け、これまで、2万数千本の苗を植え、これを基に繁殖したハマナスは全体で10万本を超えるほどになり、現在では、放水路斜面は町民憩いの場所、さらには町外からも多くの人々が訪れる名所となるなど町全体にとどまらず県内外の人々の緑化意識の高揚に貢献している。</p> <p>この間、昭和60年のインターハイや平成3年の国体の際に花文字をつくる等県内外の人々を歓迎し、内灘町のイメージアップにも大きく寄与している。</p>

[個人]

氏名	<p>すず はるお 鈴 春夫</p>
住所	<p>鹿児島県指宿市</p>
功績の概要	<p>同氏は、昭和17年小学校の教諭に奉職して以来、一貫して学校の環境緑化の指導を行うとともに、定期的に県下15の学校の造園、植樹等の設計・施工の指導を行うほか、年間約100校に及ぶ学校において、花壇の整備、育苗等緑化指導に当たり、県内の学校緑化に多大な貢献をしている。</p> <p>また、学校植林、環境緑化コンクールなどを積極的に実施し、学校林の設定、育成活動に取り組み、その結果、昭和36年から41年までに約500haの学校林が増設され、昭和27年から41年までに県下で延べ2,000haの学校植林が行われるなど、県内の学校林活動の基盤整備に貢献し、地域緑化の推進役として重要な役割を果たしている。</p> <p>このほか、県内初の緑の少年団の発足を初め各種の緑化組織の育成にも貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>いとうちゅうせいとうこぶしきがいしゃ ほんしゃこうじょう 伊藤忠製糖株式会社 本社工場</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県碧南市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代表取締役社長 三好 龍一郎</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、上白糖等の製造を手掛けており、設立当初から臨海埋立地特有の軟弱地盤・塩害を土壌改良等により克服し、サクラ・ツツジ・サザンカ等季節感溢れる樹木の植栽、庭園風の緑地の設置等、地域の貴重な緑の集積地として、効果的な緑地整備を推進している。</p> <p>全従業員が構内の緑地を割当てで担当し、定期的に除草・清掃を行う等、従業員参加の緑化活動が定着しており、社内の緑化に対する意識は高い。</p> <p>また、野球場等を地域に開放し地域住民のコミュニティ活動の円滑化に貢献するほか、地元への緑化木の寄贈や近隣工場への緑化普及啓発を行う等、地域の緑化にも寄与している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおいまちはな うんどうすいしんいんかい 大井町花いっぱい運動推進委員会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>埼玉県入間郡大井町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 島田 行雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、設立以来、住み良いふるさつをつくる活動を目的に、全域における公園樹木の手入れ、学校や各家庭への花苗、球根、肥料の配布事業、国道沿いや民有地を借りての花壇の造成管理及びプランター、つり鉢などによる立体的な花の配置、配色を生かした街並み緑化の推進を行うほか、緑化講習会、展示会、春、夏、秋に開催される花いっぱいコンクールなど多彩な緑化関係行事等に熱心に取り組み、町民の緑化意識の向上と緑化推進に貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おおまるやそう かい 大丸野草の会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>東京都稲城市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 高野 一江</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、多摩丘陵のニュータウン開発に伴い、失われていく自生の野草の保護を目的に、昭和55年に設立され、城山公園内の野草園（約2,000㎡）では、カタクリなど約150種の野草を保護・管理し、また、駅前広場、道路植栽、城山公園内等への草花の植栽を行い、更に、苗木の無料配布、自然観察会、体験学習の実施等、多様な緑化推進及び、普及啓発に貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>おわせ 尾鷲グリーンクラブ</p>
<p>所 在 地</p>	<p>三重県尾鷲市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 上野 克巳</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同クラブは、園芸の普及、栽培技術の向上等に努め、花いっぱい運動の発展に寄与することを目的に設立されて以来、毎年、園芸展や即売会を開き、市民の花いっぱい運動の推進に貢献している。</p> <p>また、昭和40年から駅前花壇等の公共施設への花木植え替え活動を実施し、昭和48年の高校総体や50年の三重国体の際には市内の花いっぱい運動に参加し、これを契機に市街地の主要な通り及び公園において、四季の花を4,500本を植樹し、さらに平成3年から5年にかけて、市内の大曾根公園に世界のさまざまな種類の椿（705本）を植樹するなど多年にわたり緑化及び環境美化運動に寄与している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>きょうごくちょうかぼくあいこうかい 京極町花木愛好会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>北海道虹田郡京極町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 池元 一雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和52年当時、花の愛好家の集まりであったが、会員の庭で花壇を整備し、町民に公開して潤いを提供することにより、また、苗を育て町内のメインストリート、町の観光スポット等にも花壇やプランターを設置するなど、地域を丸ごと取り込んだ花のある生活空間作りを展開している。</p> <p>また、毎年花づくり講習会を開催し、花の良さ、花の育て方や花壇作りなどの技術指導を行っている。</p> <p>さらに、町ぐるみの花いっぱい運動により、環境美化の大切さを浸透させ、花による環境美化に大きく貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>だいいちせいやくかぶしきがいしゃ あきたこうじょう 第一製薬株式会社 秋田工場</p>
<p>所在地</p>	<p>秋田県秋田市</p>
<p>代表者</p>	<p>工場長 市川 英二</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同工場は、医薬品の製造を手掛けており、海岸砂地、冬の季節風といった厳しい自然条件の中、周辺クロマツ林の混合林化や街路樹の充実等、自然林の保全・人工植栽に積極的に取り組み、自然環境との調和に配慮した緑溢れる（緑地率は工場敷地の約50%）開放的な工場作りに努めている。</p> <p>従業員全員参加による緑化推進委員会を組織し、構内の緑化活動を推進するほか、圃園整備や適応樹種の研究等にも取り組んでおり、従業員の緑化意識は高い。</p> <p>また、構内の緑地、野球場等の開放や小・中・高校生の社会学習の受入れを行い、地域社会との融和を図りつつ、地域の緑化意識の高揚や活性化に貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>つもろあいろうしょうかい 賦合老笑会</p>
<p>所在地</p>	<p>鹿児島県日置郡郡山町</p>
<p>代表者</p>	<p>会 長            郡山 清輝</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和47年から定期的に地域内の道路で花壇づくりや清掃活動を実施し、地域の環境美化に取り組んでいる。</p> <p>特に、国道と県道の交差点には、町の玄関口にふさわしい花壇を造成して、道行く人々に親しまれ、また、花と緑で潤いある地域づくりのために花壇部長を配置するなど、計画的な活動により四季を通じた花いっぱい運動に積極的に取り組み、他のボランティア団体の先駆的役割を果たし、緑化思想の普及、啓蒙に寄与している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>なべしまようせいかい 鍋島養正会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>佐賀県佐賀市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 石丸 千鶴子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、設立以来、市内の清掃や、市内を流れる多布施川の河畔に整備された多布施川河畔公園（面積12.2ha）における清掃美化活動や、花の植栽（年2回4,000株ずつ）などを行って、地域の緑化推進活動や公園の美化運動の普及に大きく貢献している。</p> <p>また、今年からは生ゴミを堆肥化させ、花壇の肥料とする花づくりにも取り組んでいる。</p> <p>このほか、住民主体の花いっぱい運動において、市民と緑化関係団体による「花とみどりの街づくり推進協議会」の設立にも尽力した。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>なみおかまちせいぎょうふじんかい 浪岡町成業婦人会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>青森県南津軽郡浪岡町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 有馬 つゑ</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、昭和52年に開催された「あすなる国体」をきっかけに環境整備のため花壇作りを始め、「町をきれいにしよう」をスローガンに花による町内の環境美化に貢献している。</p> <p>手作り花壇を公民館、ゴミ収集所、バス停留所等に設置し、地域住民の潤いと安らぎに大いに寄与している。</p> <p>この環境美化運動は、地域の老人クラブ等に広がりを見せ、苗の配布、栽培管理方法の指導等を通じた交流が盛んになり、協力、連帯を中心とした望ましいコミュニティ作りの原動力となっており、花による環境美化運動のモデルとして高く評価されている。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>べっぶし                      しょうねんだん 別府市みどりの少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>大分県別府市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>代 表                      平田 敏子</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、昭和53年から緑の羽根募金活動を積極的に実施、募金に際し、鉢苗や苗木などを一緒に渡すなど地域の緑化活動への参加を呼び掛けるとともに、昭和49年の同少年団結成の記念植樹祭以来、各地域で植樹活動を実施したほか、昭和55年からは植樹した木の保育活動の実施、植樹地域周辺の清掃等、地域住民の環境緑化運動への関心と意識の向上に貢献している。</p> <p>また、市主催の「クリーン別府」運動に積極的に参加しているほか、同団員で消防クラブを組織し、幅広い活動により防火活動に対する意識の向上に努めており、地域社会での評価は非常に高い。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>むかわむらしゃかいふくしきょうぎかい 武川村社会福祉協議会「みちしば」</p>
<p>所 在 地</p>	<p>山梨県北巨摩郡武川村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 幡野 仁</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同協議会は、設立以来、村内を通過する国道20号沿線（約3km）において、花畑や花壇の整備、フラワーポットの設置、導流島の植栽や清掃を定期的（毎月1回、臨時8回、年間20回）に行い、沿線を四季折々の花で飾り、良好な道路環境を創出するとともに、地域環境の保全に大いに寄与しており、地域社会の模範と環境美化（緑化）推進活動の普及啓発に貢献している。</p>

[団 体]

<p>名 称</p>	<p>もりたけれんごうらくせいかい 森岳連合楽生会</p>
<p>所 在 地</p>	<p>長崎県島原市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>会 長 波多野 悦道</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同会は、設立以来、30年の長きにわたり、毎月1回島原市のシンボルである島原城址公園（6.0ha）や、お堀、外周道路、花壇（延長1,300m、面積2,000㎡）の清掃、除草等を実施したり、公園内にイチョウ、サクラ、モモ等の記念植樹を行い、緑化の推進を図り、地域環境美化（緑化）に貢献している。</p> <p>同会は、雲仙普賢岳の噴火災害発生後も引き続き環境・美化活動に努め、災害で不安な毎日を送っている市民の心の安らぎに大いに寄与している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>いかわちゅうがっこう                      しょうねんだん 井川中学校みどりの少年団</p>
<p>所 在 地</p>	<p>静岡県静岡市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長                      宮野 俊明</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同少年団は、井川中学校林等の森林を利用して、父兄、教師、地域の協力を得て植林、育林作業の体験林業に取り組む等、緑化活動を推進するとともに、昭和58年以来毎年教師、父兄、山岳会との協力により南アルプスの清掃登山の実施等、地域の環境美化活動を積極的に展開している。</p> <p>また、昭和59年から都市部の学校と植林、育林等の体験学習を通じて交流し、都市部と山間部とのかかわりあいについて理解を深める行動を行い、森林の大切さ等の普及啓発に寄与している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>きらちょうりつきらちゅうがっこう 吉良町立吉良中学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>愛知県幡豆郡吉良町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 原田 常弘</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、学校創立以来、計画的な校内緑化の補充、整備を実施し、教育活動の柱の一つとして、緑化活動を教科、道徳、特別活動の領域等の中に明確に位置付け、「学びの庭」を活用した学習、花さか運動の展開等を通じ情操豊かな生徒の育成に取り組むなど、緑化思想の高揚に大きな成果を上げている。</p> <p>さらに、地域の中に根づいた学校作りを進める観点に立って、公園、図書館等の公共施設に植樹する「地域に緑をひろげる」活動を推進するなど地域緑化の推進に貢献している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>たぬまちょうりつにしちゅうがっこう 田沼町立西中学校</p>
<p>所在地</p>	<p>栃木県安蘇郡田沼町</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 飯田 明生</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、昭和45年に5つの中学校が統合して開校されて以来、全校花いっぱい運動を展開し、また、「花と緑の学園づくり」による豊かな人間性の育成を目指して、各教科指導等の中での緑化施設や緑化活動に関連した取組や「愛校の日」「みどりの日」の設置、緑の少年団の結成や、学校林を設置してより自然に近い環境で緑を学習活動に活用するなど生徒、職員、PTAが一体となって緑化活動を推進している。</p> <p>また、緑の使者としての老人福祉施設への定期的な訪問、近隣の小中学校30校への苗木配布など地域緑化の推進に寄与している。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>みさわしりつみさわしょうがっこう 三沢市立三沢小学校</p>
<p>所 在 地</p>	<p>青森県三沢市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>校 長 貝塚 俊信</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、「美しいものを造りあげる」、「うるおいのある環境に情緒的な人間が育つ」の理念の下、PTA、教職員が一体となって学校環境緑化活動、花壇作りや地域、同窓会の献木による「子供の森」の建設等を行い、また、教育課程に環境緑化活動を明確に位置付け、学習活動や特別活動を通じ、環境をより良くしようとする意欲や実践的態度等を育てるという観点の下に創意に富んだ緑化活動を実施している。</p> <p>また、学校で育成した苗などを地域の希望者に分けたり、地域の人が堆肥や花木を学校に提供するなど、学校・地域の相互交流により、地域と一体となった意欲的な取組となっている。</p>

[学 校]

<p>名 称</p>	<p>りょうぜんちょうりついでししょうがっこう          霊山町立石田小学校</p>
<p>所在地</p>	<p>福島県伊達郡霊山町</p>
<p>代表者</p>	<p>校 長 齋藤 實</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同校は、P T Aと協力して植林活動に取り組み、昭和41年までに5.8ha、アカマツ27,000本の植林を実施し、現在まで計画的な下刈り、間伐などの保育活動を通して緑を守り育てることの大切さの教育を実践している。</p> <p>また、校内はもとより学校周辺や通学路、神社、河川公園の清掃等のクリーン活動に取り込み、地域の環境美化に貢献するとともに、同校の西約10kmを流れる阿武隈川に飛来する白鳥のため、給餌用のパンやくず米などの確保に努め、野鳥保護等に貢献するなど、自然環境全体に目を向けた緑豊かな明るく住み良よい郷土づくりを展開している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>うちのみちょう 内 海 町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>香川県小豆郡内海町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長 川西 寿一</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、小豆島東部に位置しているが、人口流出による過疎化が進んでいく中で、「住んでよく訪ねてよいまち」を目指すため、地域の86団体を包括した「花のまちづくり協会」を設置し、官民一体となった積極的な緑化運動を推進している。</p> <p>また、町内の主要な路線にシンボル樹木の整備を行う「うちのみ華街道」の整備、町民総参加による植栽、「一地区一景観づくり」等を実施する「花と緑の1万メートルプロムナード事業」、町内各小学校新生に苗木を贈り、緑化への関心を育む「一戸一木事業」など、花と緑のあふれた潤いとやすらぎのあるまちづくりを行っている。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>たいらむら 平 村</p>
<p>所 在 地</p>	<p>富山県東礪波郡平村</p>
<p>代 表 者</p>	<p>村 長        中村 義則</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同村は、昭和62年に「花と緑を進める計画」、「花と緑に親しむ計画」、「花と緑をつくる計画」、「花と緑を育てる計画」からなる「平村グリーンプラン」を策定し、“花と緑の日本一の村づくり”をキャッチフレーズに、祖山レストパーク周辺への植栽、「桜のある景観事業」の実施など積極的な緑化事業を展開している。</p> <p>また、村民の美意識や公德心の高揚に努め、恵まれた大自然に調和する美化活動・緑化活動を行うため、「うるわしい村づくり推進村民会議」を設立し、住民が主体となって花壇やフラワーポットの設置等緑化運動を展開している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>たかさきし 高崎市</p>
<p>所 在 地</p>	<p>群馬県高崎市</p>
<p>代 表 者</p>	<p>市 長 松浦 幸雄</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同市は、同市の水源である烏川の源流の群馬県倉淵村と昭和46年から70年間にわたる「水源かん養林分収契約」を締結し、植林事業を行っている。</p> <p>この事業は、高崎市の負担によりヒノキ等の用材林に限らず植林し、水源かん養を直接目的としたものであり、その分収率も高崎市分が極めて低い（30%）など特徴的なもので、これは水の確保における植林の大切さをよく認識したものであり、烏川水系における水源かん養や上下流域の相互理解の増進に果たした役割は大きい。</p> <p>また、同市は昭和56年度から「烏川源流探訪」を実施し、水の大切さ、緑のダム（水源）の重要性をPRするなど市民への普及啓発にも尽力するとともに、最近では県境を越えた流域の交流による水源地域での緑化の推進に対しても貢献している。</p>

[地方公共団体]

<p>名 称</p>	<p>はがちょう 波賀町</p>
<p>所 在 地</p>	<p>兵庫県宍粟郡波賀町</p>
<p>代 表 者</p>	<p>町 長            中田 耕一郎</p>
<p>功績の概要</p>	<p>同町は、地域の緑化と都市住民参加の森林づくりを推進するため、海辺の都市高砂市と姉妹提携を結び、都市住民に森林づくりのオーナーとしてのふるさとを提供するとともに、都市と山村との交流を図るため、都市住民との共同による森林づくりの推進、高砂市に郷土樹種の植栽による「波賀の森」の造成、農林水産物等の「ふるさと宅急便」の実施を図っている。</p> <p>また、ログハウス、森林生態学習舎、木工施設等の緑の体験学習施設を整備し、郷土の自然を活かした各種の交流活動の実施を通じて、森林の役割の普及啓発、都市と山村の連帯感の強化に努めるなど、地域緑化の推進に大きな役割を果たしている。</p>